大項目３　がん教育アニメーションDVDの活用について

「がん撲滅へ、中学３年生全員に正しい知識を教え、家族とともに考えてもらおう」と、公益財団法人・日本対がん協会が制作を進めてきた、がん教育アニメーション「がんちゃんの冒険」（ＤＶＤ、約２０分）は、肉食好きで愛煙家の中年男性「オッジさん」と、がん細胞「がんちゃん」を中心に繰り広げられる短編１７話、各１～２分で構成されています。

オッジさんが、がんについて学び、検診を受けて早期発見・治療に取り組むストーリーを通し、がんができる原因や仕組み、がん大国・日本の実態、放射線治療、緩和ケアなどの基礎知識を習得させようとするもので、正しい生活習慣と定期的検診が、いかに大切かが理解できるようになっています。

がん大国の返上には義務教育期からの「がん教育」の推進が不可欠との観点から、日本対がん協会がＤＶＤの活用を希望する中学校に「がん教育基金」で賄える範囲内で無償配布しています。全国の中学３年生に授業などで視聴してもらうとともに、各家庭に持ち帰って家族と一緒に学ぶことで、がん発症が急増する父母等の世代にも、がん検診と生活習慣の改善を促したいとしています。

このDVDは、厚生労働省・がんに関する普及啓発懇談会座長の中川恵一東大病院准教授の監修によるもので、同協会が２００９年に設立した「がん教育基金」への寄付金を原資に、文部科学省・学校健康教育課の協力を得て制作されたものです。

このDVDを本市の全中学校の授業や、PTAの会合などで活用してはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

1. DVDの活用について、教育委員会はどうお考えですか
2. すでにこのDVDを活用した中学校はありますか
3. 今後の予定、計画を伺います。